

薬物治療学Ⅳ

Pharmacotherapy Ⅳ

薬：E3-08322MY

医療科目 3年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 安 武夫(臨床薬効毒性解析学研究室)

■教育目的

適切な薬物治療を責任を持って提案できるようになるために、代表的な感染症の病態、診断および治療に用いられる医薬品に関して学び、治療アウトカムを改善させるための必要な情報を自ら判断できる能力を身につける。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-③、YD-⑤】

■学習到達目標

1. 感染症の治療に対する基本的な考え方を習得し、概説できる。(知識、技能)
2. 主な疾患の病態とリスク因子を把握し、治療のゴールと標準治療を概説できる。(知識、技能)
3. 主要疾患の病態・原因微生物に応じた適切な薬剤選択とその根拠を説明できる。(知識、技能)
4. 抗菌薬の用法・用量を決定するための PK/PD の基本的概念を説明できる。(知識、技能)
5. 抗微生物薬の適正使用を理解し、医薬品使用上の注意、モニタリング計画を説明できる。(知識、技能)
6. 計画した治療が機能しない要因を列挙し、解決する道筋を立てることができる。(知識、技能)

■準備学習（予習・復習）

予習：微生物学、病態生理学、薬理学などで学んだ病原体や抗微生物薬の内容を復習しておく(20分以上)。

復習：模擬症例に応用することで理解を深める(20分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	感染症治療総論 1	感染症治療の原則と薬剤師の役割	D-2-15-1,F-2-1-8,F-2-1-9,F-2-1-10
2	感染症治療総論 2	抗菌薬の適正使用、Pharmacokinetics(PK)/Pharmacodynamics(PD) 理論	D-2-15-1,D-2-15-3,D-2-15-4,D-4-2-5
3	感染症各論のはじめに	咽頭炎、中耳炎、ワクチンの一部、副鼻腔炎、百日咳	D-2-15-2,D-2-15-4
4	尿路感染症	膀胱炎、腎盂腎炎、症例解析	D-2-15-2,D-2-15-4,F-1-1-10
5	中枢神経系感染症	髄膜炎、脳炎	D-2-15-2,D-2-15-4,F-1-1-10
6	呼吸器感染症 1	市中肺炎	D-2-12-1,D-2-12-2,D-2-15-1,D-2-15-2,D-2-15-4
7	呼吸器感染症 2	院内肺炎、MRSA、VRE、SPACE カルバペネム系抗菌薬の適正使用	D-2-12-1,D-2-12-2,D-2-15-1,D-2-15-2,D-2-15-3,D-2-15-4
8	呼吸器感染症 3	抗酸菌症：結核、非結核性抗酸菌症、ハンセン病	D-2-15-2
9	循環器系感染症	心内膜炎、敗血症、カテーテル関連血流感染症	D-2-15-1,D-2-15-2,D-2-15-4
10	骨髄炎、関節炎	骨髄炎、感染性関節炎	D-2-15-2
11	皮膚・軟部組織感染症	伝染性膿痂疹、ヘルペス、水痘、带状疱疹、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎、皮膚真菌症、カンジダ症	D-2-15-2
12	腹部感染症と医療現場での感染制御	急性下痢症、Clostridioides Difficile 感染症、腹腔内感染症、標準予防策、代表的な感染症の予防策、針刺し事故の対応	D-2-15-2,F-3-4-1,F-3-4-2, F-3-4-3
13	免疫不全と感染症	深在性真菌症、原虫感染症、重複感染、予防投与	D-2-12-1,D-2-12-2,D-2-15-1,D-2-15-2,D-2-15-4
14	性感染症、HIV 感染症	梅毒、淋病、クラミジア症等、HIV 感染症	D-2-15-1,D-2-15-2,D-2-15-4
15	特別講義	感染制御、感染治療と薬剤師：専門薬剤師による	B-1-1-1,D-2-15-3,D-2-15-5

■ 授業分担者

安 武夫(No.1,8,10,11)、高橋 雅弘(No.2,6,7,9,13,14)、花井 雄貴(No.3～5,12)、外部講師(No.15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(90 %)および特別講義レポート(10 %)で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント

■ 参考書

青木真：レジデントのための感染症診療マニュアル 第4版、医学書院 (2020)

Dipiro's Pharmacotherapy: A Pathophysiologic Approach, 13th ed., McGraw-Hill (2026)

感染症学、南山堂 (2025)

各種治療ガイドライン